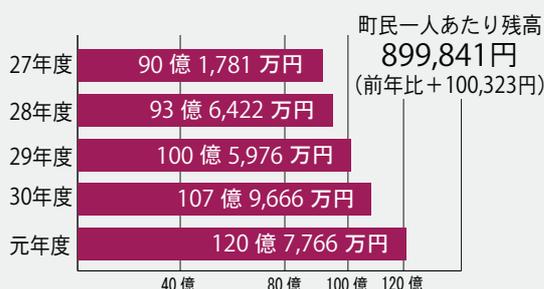


基金と地方債の残高状況を見てみよう!

●積立基金（貯金）残高の推移



●地方債（借入金）残高の推移



今の白鷹町の財政状況はどうなっているのかなあ？

主な基金 (積立基金) の積立状況

名称	金額
財政調整基金	9億5,474万円
減債基金	5億5,675万円
公共施設整備基金	4億9,344万円
スポーツセンター整備基金	1億986万円
福祉振興基金	1億2,363万円
その他の基金	1億9,078万円
積立基金合計	24億2,920万円

「基金」とは？

特定の目的のために積み立てる町の預貯金のことです。財政調整基金や今後の事業のために積み立てを行うもの（積立基金）のほか、定額の資金を運用するためのもの（定額運用基金）があります。

前年度との比較と今後の見通しについて...

令和元年度は、共創のまちづくりの理念のもと、人口減少対策や地方創生に向けた施策を展開してきました。

一般会計における決算は、前年度に比べ歳入総額で5億2028万円（5.3%）、歳出総額で6億618万円（6.8%）上回る結果となり、収支差引は7億1443万円となりました。

歳入については、町が自主的に収入することができる町税などの**自主財源**は、税収入が2163万円減少したものの、公共施設整備基金等繰入金が増などにより、前年度に比べ約7174万円の増加となりました。また、国や県からの補助金や地方交付税、地方譲与税、町債（借入金）などの**依存財源**も、約4億4854万円の増加となりました。

歳出については、支出が義務づけられ任意に削減できない**義務的経費**は、公債費（借入金返済）が約2312万円、扶助費（住民福祉経費）が約844万

円の増加となりました。義務的経費以外の**任意的経費**では、普通建設事業費（公共・公用施設の整備経費）が、老人福祉施設整備支援事業の増などにより約4億5644万円の増加となりました。

そのほか、今後見込まれる財政需要等に備え、減債基金（将来の借入金返済に備える基金）に1億5000万円の元金積立てを行いました。

持続可能で健全な財政運営を基本とした取組を進めています。が、投資的事業の増加により地方債（借入金）残高が増加することに加え、国から配分される地方交付税と国や県の補助金などへの依存度が高く、自主財源の確保が大きな課題となっております。

引き続き、計画的な行財政改革の推進に努め、より良いまちづくりを進めてまいります。

では、具体的にどのようにお金が使われたのか、気になる中身を次のページで見よう!

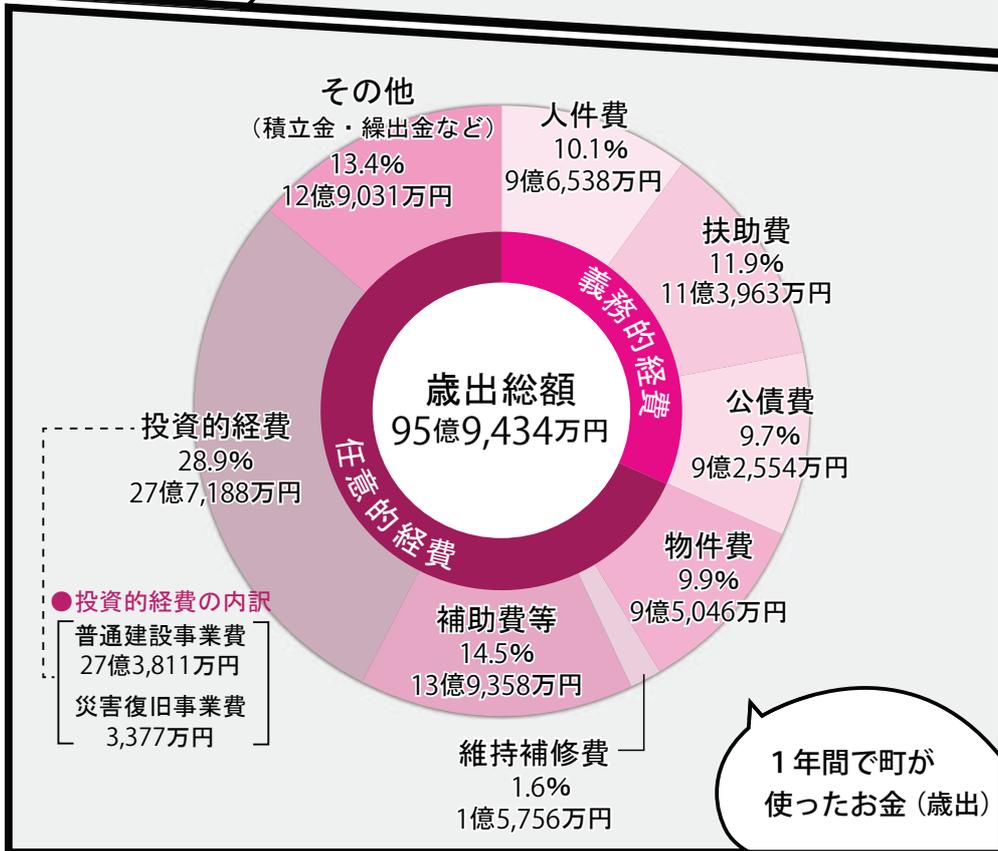
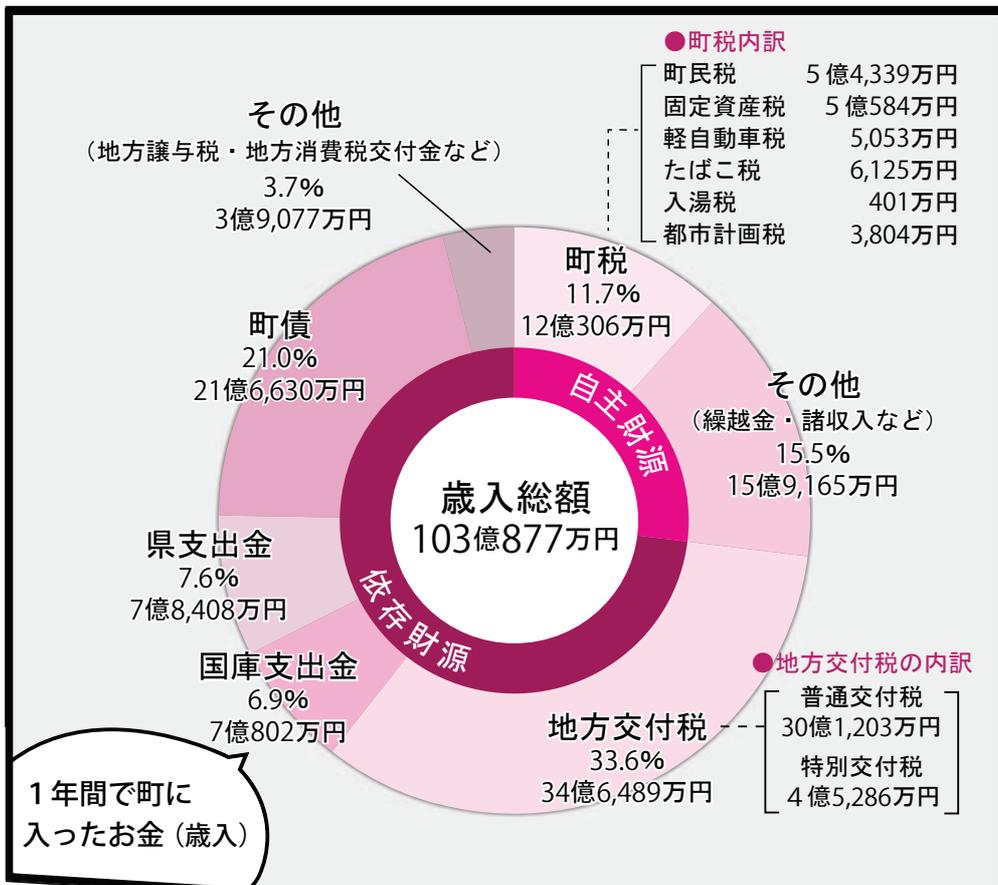




令和元年度一般会計の決算内訳がコチラ！

皆さんに納めていただいた税金の使い道がわかる！

まちの財政状況



令和元年度の決算を報告します。

